

平成26年度第4回兵庫労働局公共調達監視委員会議事概要

平成26年度第4回公共調達監視委員会を平成27年2月12日（木）に兵庫労働局会議室において開催しました。

その審議の内容は下記のとおりです。

1 審査対象期間 平成26年10月1日～平成26年12月31日

2 公共調達審査会審議結果報告（公共調達審査会委員長）

平成27年1月28日に開催しました公共調達審査会は、委員3名全員の出席により、対象期間が平成26年10月1日から12月31日の間の契約締結案件11件を審議した結果、全案件について、適正な処理であると判断しました。

3 抽出結果の報告（抽出担当委員）

抽出担当委員より、対象期間は平成26年10月1日から平成26年12月31日まで、対象案件11件の全てを抽出し、審議の対象とする報告がなされた。

4 対象案件の審議

対象案件中7件は競争入札によるもの、4件は随意契約によるもので、事務局から公共調達監視委員会審議対象一覧に沿って各案件を説明。

委員 随意契約「工事1番」のエレベーター修繕工事について、今後の問題として保守契約にそういった修繕を含んだ契約をすればと思うがどうか。

局 保守点検の中で金額の大きな部品交換等で次年度に交換が必要な場合には、次年度の契約で保守業者がその修繕を行うといった内容での契約を考えています。

委員 競争入札「物品役務1番」の不要物品廃棄で運搬費用として通行料が含まれると説明があったが、地元の業者に廃棄をさせることはどうか。また、地元業者の応札はあったか。

局 今回の応札者には地元業者は入っておらず、一般競争入札で地元の業者だけを対象とすることはできないと考えます。

委員 競争入札「物品2番」の複写機及び複合機購入等だが、元々メーカーが違い保守契約もバラバラの契約をなぜまとめたのか。

局 メーカーの違うものは引き取り機種であり、購入機種については使用頻度によりグループ分けをして、同等品申請の承認により銘柄指定は行わず一括入札している。

委員 競争入札「物品3番」の落札率が高いのはどういった状況か。

局 5者応札があり、予定価格内での応札はこの契約業者の1者だけであり、高い落札率となっている。

委員 随意契約「委託事業1番」について、今回は養父市が採択されているが、これは地域指定か。

局 その地域内で雇用機会が不足しており、その地域内において就職することが困難な状況にあり、その状況が継続することが見込まれる地域等、雇用状況に係る数値的な条件等が

ある中で養父市を含めて全国で89地域が採択されています。

委員 この事業とは、どういったことをするのか。

局 地域資源（食品、観光、農業等）を活用し、企業には商品開発や創業のノウハウ、求職者にはスキルアップを目的とする等のセミナーを通して、雇用を創出し、拡大を図るための事業内容です。

局 全国からそういった事業構想等の提出を受けて、厚生労働省において企画提案会を実施し採択されています。

委員 事業評価はしているか。

局 各年度ごとに中間評価報告書の内容について第三者委員会に諮った上で、翌年度以降の事業の継続の可否を決定しています。たとえば、事業全体目標の9割を達成できず、かつ、個別の事業の全てについて9割を達成できない場合等があります。

また、事業を継続する場合であっても、事業内容の一部を変更することや、条件を付すことの措置を講ずることもあります。

5 審議結果（委員長）

本日、審議を行った案件について、特に不適切又は改善すべきと思われる点はなかったと思いますが、両委員ともご異議ありませんでしょうか。

（「異議なし」の声）

それでは、運営要綱第5条第4項のとおり、委員の多数をもって決したと認めます。

また、運営要綱第5条第2項により、本日の審議内容を兵庫労働局長へ報告するとともに議事の概要を公表（ホームページへの掲載）することとします。

6 閉会